

平成 24 年度診療報酬改定について

機構本部事務局

全体改定率 +0.00% (+0.004%) [+0.19%]
[] 内は前回 H22 改定時

1 診療報酬改定（本体）

改定率 +1.38% [+1.55%]

各科改定率 医科 +1.55% [+1.74%]
 歯科 +1.70% [+2.09%]
 調剤 +0.46% [+0.52%]

（重点項目）

- ① 救急、産科、小児、外科等の急性期医療を適切に提供し続けることができるよう、病院勤務医等の負担軽減・処遇改善の一層の推進を図る。
- ② 地域医療の再生を図る観点から、早期の在宅療養への移行や地域生活の復帰に向けた取組の推進など医療と介護等との機能分化や円滑な連携を強化するとともに、地域生活を支える在宅医療の充実を図る。
- ③ がん治療、認知症治療などの推進のため、これら領域における医療技術の進歩の促進と導入を図ることができるよう、その評価の充実を図る。

2 薬価改定等

改定率 ▲1.38% [▲1.36%]

薬価改定率 ▲1.26%（薬価ベース ▲6.00%）
 [▲1.23%（薬価ベース ▲5.75%）]
材料改定率 ▲0.12% [▲0.13%]

平成24年診療報酬改定による影響状況

H24.08

(千円)

須坂病院		73,657	
診療報酬改定による影響		61,937	
入院基本料及びDPC係数の変更によるもの		35,443	
同一日2科受診による再診料		1,069	
人工腎臓（人工透析）		△ 2,090	
手術料		45,640	
その他		4,765	
薬価改定による診療報酬請求額の減		△ 22,890	381,506*0.06
医薬品仕入額の減		△ 11,720	585,988*0.02
こころの医療センタ駒ヶ根		21,938	
診療報酬改定による影響		17,841	
児童・思春期精神科入院医療管理料の新設		32,022	
その他		422	
薬価改定による診療報酬請求額の減		△ 14,603	243,391*0.06
医薬品仕入額の減		△ 4,097	204,855*0.02
阿南病院		△ 12,514	
診療報酬改定による影響		△ 18,027	
入院基本料等の変更によるもの		517	
同一日2科受診による再診料		1,598	
その他		△ 359	
薬価改定による診療報酬請求額の減		△ 19,783	329,721*0.06
医薬品仕入額の減		△ 5,513	275,660*0.02
木曾病院		45,676	
診療報酬改定による影響		36,193	
入院基本料及びDPC係数の変更によるもの		28,137	
同一日2科受診による再診料		5,219	
人工腎臓（人工透析）		△ 2,399	
手術料		22,384	
その他		4,749	
薬価改定による診療報酬請求額の減		△ 21,897	364,952*0.06
医薬品仕入額の減		△ 9,483	474,153*0.02
こども病院		64,176	
診療報酬改定による影響		50,749	
入院基本料等の変更によるもの		4,693	
手術料		64,000	
その他		17,955	
薬価改定による診療報酬請求額の減		△ 35,899	598,327*0.06
医薬品仕入額の減		△ 13,427	671,350*0.02
		診療報酬改定による影響	148,693
		医薬品仕入額の減	△ 44,240
		影響額計	192,933 千円

診療報酬改定の影響については、各病院の前年度実績を基に主な項目の改定額を個別に算定。
 薬価改定については、各病院の投薬料算定実績に改定率（△6%）を乗じて算定
 医薬品仕入額への影響については、今年度契約実績を前年度と比較して算定。
 なお、材料価格の改定については影響額が小さいことから考慮していません。